



期日	令和5年8月26日（土）	時間	18:30～19:45	場所	大石コミュニティセンター
参加者	大石地区／10人 …地区区長会、まちづくり協議会役員、PTA、各種団体				
	坂井市／8人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長				

参加者からの意見・提案等

Q. 布施田橋から鷺排水にかけての広大な土地が、荒れて手つかずの状態になっています。自然を生かしたアウトドア広場や貸農園などを整備してはいかがでしょうか。

Q. 市と地元住民とで、人口減少対策を考える場を設けてはどうでしょうか。データに基づいた効果的な対策を、もっと検討すると良いと思います。

Q. 農林水産業はもちろんですが、エネルギーも地産地消が可能です。太陽光発電や蓄電池の普及、水力発電や生ごみ発電など、今問題となっている地球温暖化や脱炭素対策にもなるし、送電ロスもなくなると思います。

Q. ちょっと手伝いしてほしい農家と、ちょっと農業をやってみたい人のマッチングができるの良いのではないのでしょうか。できればその窓口役を、コミセンやまち協で担ってもらえると良いと思います。

Q. イータクで、三国から丸岡まで乗り換えなしで行けるようにしてほしいです。また、急な乗車にも対応してもらえると助かります。

Q. イータクの停留所は、集落が密集する市街地には比較的近い間隔で設置されていますが、大石地区は、集落と集落の間が広く、停留所の間隔も遠いのが現状です。追加料金で自宅近くまで回ってもらえるようにするなど、高齢者がもっと利用しやすく改善できませんか。

市からの返答

A. 地域の皆さんがどう活用したいか、地域で運営する形で市に提案いただければ、市としてできることは応援します。ぜひ、案を練るところから、地域の皆さんで盛り上げてください。

A. 国全体の人口が減る中で、この趨勢が簡単には戻らないことを踏まえると、限られた人口の中でいかに活力を生み出していくかが重要です。そのためにも、住民の地域参画や、小中学生に坂井市の良さを伝え地元意識を高めることを推進していきます。

A. 今年度、市では省エネに関する計画を策定しており、来年度から新しい取り組みを始めていきます。エネルギーの地産地消の観点で、議論を進めているところです。

A. とてもいい提案なので、対応できるよう検討していきたいと思います。行政が実施するという方法もありますが、まずは、身近なまち協などで試行するのが良いと思います。

A. イータクは、広範囲をカバーして運行している反面、一部乗り換えが必要なのが現状です。より利便性が上がるように、事前予約の時間設定も含め、改善に向けてタクシー事業者と引き続き検討していきます。

A. 大石地区内でどう改善するのがよいのか、担当課に検討を促したいと思います。イータクは、稼働してまだ半年ということもあり、実行してみて不都合なことがあれば、皆さんの期待に沿えるよう、できる限り改善していきます。